

秋の事業報告

手話奉仕員養成講座

基礎課程



18名が参加し、5月から12月にかけて開催された講座も、30回のカリキュラムを終了し、閉講式を迎えました。入門課程からこのステップアップであるこの講座に、積極的に臨む受講生の姿が印象に残りました。

敬老会



9月から10月にかけて、社協支部主催の敬老会が市内16地区で開催されました。民生委員をはじめ地域の皆様のご協力のもと、長寿と金婚を盛大にお祝いしました。



傾聴ボランティア養成講座

悩みや不安を抱えている方の話を聴き、心を癒す手助けをするボランティアの養成講座を10月11日(木)、25日(木)、埼玉カウンセリングセンターの高倉恵子先生を講師に招き、開催しました。聞き役、話し役に分かれるロールプレイを通じて、聞き上手になるための心構え、技術を学びました。



ひとり親子・障がい児者親子合同バスハイク

この事業は、ひとり親家庭や障がいをお持ちの方が、交流を通じて絆を深めることを目的に毎年開催しています。今年は11月3日(土・祝)に「横浜・八景島シーパラダイス」までのバスハイクを楽しみました。絶好の行楽日和の中、シロイルカのショーや普段見られない魚と一緒に見学し、親交を深めました。

社協登録ボランティア団体県外研修

先進的な福祉活動に取り組んでいる地域を訪ね、今後の事業に活かすため、11月7日(水)、社協登録ボランティア団体の会員35名が、東京都立川市大山自治会を視察しました。自治会加入率100%、孤独死ゼロ、交通事故ゼロを達成した地域づくりのノウハウを聞き、地域とは、そこに住む皆でつくるものだ改めて実感しました。



障がい者交流事業

「うどん打ち」



「うどん打ち」を通じて視覚障がいのある方との交流をはかる催しが、11月6日(火)、加須ロータリークラブ、加須手打ちうどん会、加須市商工会の協力により、加須市商工会館で開催しました。視覚障がいのある方とその家族、ボランティアの19名が、加須名物の「手打ちうどん」作りを通して、和やかなひと時を過ごしました。

福祉ふれあい広場



地域の皆様が増し、福祉の関心と理解を深める催しを11月23日(金・祝)大利根総合福祉会館で開催しました。毎年好評の福祉バザーのほか、焼きそばやフランクフルトなどの模擬店、(株)コロンパンをはじめとする地元企業の物品販売などもあり、会場は大盛況でした。さらに今年も県社協マスコット「シャキたまくん」がゲストとして来場し子どもたちの人気的になっていました。バザーの売り上げは、地域の福祉事業に活用されます。